

# 高専発！「Society5.0型未来技術人財」育成事業

## ②COMPASS5.0 次世代基盤技術教育のカリキュラム化



### 背景

- AI戦略2019（統合イノベーション戦略推進会議令和元年6月11日決定）にある未来への基盤作り（教育改革）、産業・社会の基盤作り（社会実装）など、AI技術の発達により学びの変化、求められる人材像が大きく変革すると指摘されている。
- デジタルトランスフォーメーション（DX）時代に向けあらゆる産業においてITを今以上に活用することが求められ、AI、ロボット、IoTなどを組合せる実装力、蓄積されるビッグデータをAIで分析活用できる人材が、持続的な経済成長に求められている。
- 我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）（令和4年6月7日）において、デジタル・グリーン分野での需要の急拡大が見込まれる半導体に関して、関連企業等の集積地域において人材育成に関するコンソーシアムを産学官が連携して組成し、地域のニーズに合った人材育成を行うことが提言されている。

### 課題

- 数理・データサイエンスの基礎となる数理教育の更なる充実が必要。
- 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創造に繋がる最新の基盤技術を各専門学科の高度化部分として、教材開発と教育実践が必要。（価値創造に繋がる各専門分野での基盤技術教育の羅針盤） 半導体人材育成の取組が急務。
- Society5.0時代に即したAI（ディープラーニング）×専門分野に向けた教育実践が必要。

### 目的

イノベーション創出に向けた人材を輩出するために、① AI時代に必要な知識・リテラシー教育、② Society5.0を支える基盤技術教育（COMPASS5.0）、③ AI×専門分野を学ぶ高専教育の更なる高度化を目指す。

### 事業概要

<これまで>（R2年度からR4年度）

○拠点校（3分野、6高専（2高専／分野））

AI・数理データサイエンス（旭川高専、富山高専）、ロボット（北九州高専、東京高専）、IoT（広島商船高専、仙台高専）

○拠点校における主な活動

①教育パッケージ（到達目標、教材開発、教育実践事例）の構築、教員研究②関係する産業界・団体等との関係構築（情報交換、教員向け最新技術動向の講演等）③開発した教育パッケージの全国展開、ブラッシュアップ

<今後>（R5年度以降、下記項目へ徐々にシフト）

- 各分野における更なる特色の伸長・深化への取組
- 継続的な教育の高度化に向けて、全国の高専がそれぞれ自走するための取組及び継続した関係する産業界との協働教育の強化（教材高度化、インターンシップ、人事交流等）。
- 新たに半導体を実施。（拠点校：熊本、佐世保）

### ①GEAR5.0による“未来技術の社会実装教育の高度化”と接続

